

令和8年度都立小笠原高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	国語で的確に理解し効果的に表現する学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に基づいて単元目標の設定と振り返り 単元毎に授業を振り返り、次の単元への活かし方を教科内で検討し、指導を確立させる 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による見方・考え方を働かせるためにペア・グループワークを行ない、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす授業の実施
地理歴史	基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、思考に必要な不可欠な知識を確認し、考査によってその定着度を把握・確認する 既習範囲と新たな知識が連結するように説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を通して身につけた知識をもとに、抽象的な問題を考察し、整理し、表現する力を習得させる 他の人の考察に触れることや、体験学習を通して、自らの考えを深めることができるようにする
公民	課題解決能力を身につける	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会において答えの分かれる問いについて議論し、自らの在り方生き方を考察する 全ての授業で時事問題を取り扱う 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施 他者の意見を知り、よりよい意見を構築する弁証法的アプローチによる授業の実施
数学	基礎計算能力の定着と課題解決活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 基礎計算能力向上を目的とした単元テストの実施 事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項をもとにした課題解決を目的とした発問形式の授業の実施 他者と考え方を共有し、様々なアプローチ方法を身に付ける対話的な授業の実施
理科	基礎学力と科学的思考力・判断力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の小テスト、月1回の実験の実験を行う。 地域の自然環境を題材に、生徒自身の問いや疑問を起点とした探究的な学習活動を充実させる 	身近な理科の課題について、科学的思考(観察、仮説、実験、考察)を順序立てて行い、科学的思考力を育む。
保健体育	生涯スポーツに向けた主体的な学びの充実	<ul style="list-style-type: none"> 少人数制の授業で、個に応じた指導を実践する ペア、グループ学習を通して、対話的な学習を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一台端末を活用して、運動のフォームや試合の戦術を分析させ、そこから、運動課題を発見させ、課題に応じた練習を計画させる
芸術	感性を高め、表現の能力を伸ばす。(音楽) 表現と鑑賞の相互作用を創造活動に結び付ける(美術)	<ul style="list-style-type: none"> 器楽演奏、声楽、音楽理論、ソルフェージュ能力を伸ばす。 課題ごとの練習、発表、鑑賞(音楽) 鑑賞活動でのインプットと、アウトプットのスムーズステップ化。ドローイングやクロッキーによる基礎造形力の研鑽。題材ごとのリフレクション(美術) 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。(音楽) 客観的な鑑賞の場となる学祭での教科展示、小学校展覧会(隔年)への出品(美術)
外国語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の授業で、話す活動を取り入れる 話す力を評価する実技テストを実施する パフォーマンスにフィードバックを提供しモチベーションの向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ、プレゼンテーション、特定のシチュエーションでのやりとり等の活動に取り組む 各種留学を希望する生徒を輩出する
家庭	「課題を解決する力を身に付け、グループ活動をして発表する」学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、自己解決する時間を設ける 探求すべき課題に対し協力して取り組む授業を実施 ルーブリックによる評価でモチベーションアップを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習目標に対する振り返りの実施 グループ学習+発表の機会を確保
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 高校生にとって、身近な事例を題材にする。自分事として捉え情報社会を生きる力を身に付けさせる 問題集テキストを活用し、自分の考えを記述したり、PC上に書き込んだりして思考のアウトプットを図る 	<ul style="list-style-type: none"> 情報Ⅰ各単元の最終課題で、グループ(協働学習)による探究的な実習を実施